

卒業生の姿に学ぶ

～優しいだけではダメだけど、優しくなければ人でない～

台風のため・大雪のため・新型コロナウイルス感染症対応のため……と、今年度は、何日か臨時休業をさせてもらった学校ですが、ここ数日は、めっきり春らしくなってきて、子供達の明るい声が大きく聞こえてきて、うれしく思っているところです。また、学校の桜の木は、まだ色づいていないものの、子供達は、運動場で遊ぶ日が多くなってきたことにも喜んでいきます。

さて、3月23日は、第57回神石小学校卒業証書授与式を行います。今年度は、9名の6年生がこの神石小学校を巣立っていきます。9名の6年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

この一年間、卒業生は、持ち前の「優しさ」で下級生を引っ張ってくれました。登下校では、そっとカバンを後ろから支えたり、バスの乗り降りで困っている人はいないか、忘れ物がないかを確認してくれたりしてくれました。学校への坂道でも、下級生を気遣う姿が見られましたね。また、トランペット鼓隊でのパート練習でも、本当は「……………してほしいなあ。」と思っても、言いたいことを心の中でとどめておいて、そっと先生に困っていることを相談している人もいましたね。他の人の失敗に対しては、相手を気遣いながらもユーモアをもって対応し、周りの人との関係を良好にしていこうとしていましたね。私が昔の先輩から教えてもらった言葉に、「優しいだけではダメだけど、優しくなければ人でない。」というものがあります。この言葉は、改めて卒業生9名の「人としての『優しさ』」を改めて考えさせてくれる一言になりました。

在校生の皆さんには、自分なりの相手を気遣う「優しい」卒業生の姿を見習ってほしいと思います。

卒業生、そして在校生にとっても、この一年を無事に終えることができるのは、毎日皆さんの成長を見守り応援したくださった家族の方々・地域の方々のお陰があるということを忘れないでください。そして、今年度一年間で「キラキラ」輝き、成長した自分を信じて、中学校・新しい学年での新たな生活・夢の実現に向かって歩いていってください。

最後になりましたが、地域の皆様・保護者の皆様、これまで子ども達を「神石地域の宝」として、温かなご支援とご指導をくださり本当にありがとうございました。9名の卒業生は、神石小学校の学び舎を巣立っていきますが、これからも変わりなく、在校生達を見守り励ましていただきますようお願い申し上げます。また、この一年間、神石小学校に対して皆様からいただきましたご支援ご協力に心より感謝申し上げます、年度終わりのあいさつといたします。

校長 田 丸 栄